

ナジルびとの ように

民数記
6章 1～2節

主はモーセに告げて仰せられた。「イスラエル人に告げて言え。男または女が主のものとして身を聖別するため特別な誓いをして、ナジル人の誓願を立てる場合、

この世の中を生きている間、いつも良いことだけがあるわけではありません。また、おとなになるにつれて、責任を持たなければならないことができて、想像もできないような多くの問題にぶつかることもあるでしょう。しかし、私たちに問題は、神様の契約を成し遂げる機会であり、時刻表です。ですから、私たちは今から霊的な部分と肉的部分で、おとなになる準備をしなければなりません。それは、運動選手たちが競技するその日のために、毎日毎日訓練して自分のフォームを管理するのと同じことです。そのようなレムナントは、今日のみことばに出てきた神様に用いられるために区別された人「ナジル人」のように、神様の働きに用いられるでしょう。

もし今、私に特別な問題があるとするとしたら、神様は私を通じて、特別な契約を成し遂げようとしておられるという事実を忘れないようにしましょう。人の力では解決できないことに、神様の力が臨んで、特別な答えを受けられる機会になります。それとともに、神様は答えを越えて、キリストをあかしする特別な伝達者として私を用いられるでしょう。今日、この時代のナジル人になって、毎日誤った刻印が変えられて、神の国のことを味わうレムナントになるように祈りましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私は、神様が成し遂げられる契約と答えの中で、キリストをあかしする機会をのがさないナジル人になりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



書いてみよう

民数記に記録されたナジル人の姿を聖書から見つけてみことばを声に出して読んでみましょう。

そしてみことばを「今日の伝道」の枠の中に書いて、黙想しましょう。

民数記6章 3～8節のみことば



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

04

かようび

けいやくの りよていの なかに いる わたし

使徒
1章8節

しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けま
す。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、
わたしの証人となります。

レムナントにも家庭問題があるかもしれません。両親がいつもけんかをして
いたり、お金がないと言われたり、家の中で悲しくなることもあるでしょう。
自分のことをだめだと思っ、自分の限界を感じたことはありませんか。勉強
が難しくつまずいて、友だちにいじめられて、ひとりぼっちに思うときもあ
るでしょう。私にはどうすることもできない、特別な苦しみがあるかもしれま
せん。

私たちは問題があると、失望してあきらめる時が多いです。しかし、契約を
受けたレムナントの人生は、契約の旅路です。これが、すべてのことが失望す
る機会ではなくて、「ただ」の機会になる理由です。そして、私にある問題に
は神様のメッセージがあることを覚えましょう。また、問題はただキリストが
私の中におられ、私は神の子どもだという約束を握る機会なのです。

今日から神様が私の中に神の国を成し遂げてくださるように祈りましょう。
私に聖霊の満たしと知恵と力を与えて、私たちの家庭と私、そして、世の
中を生かすレムナントになるように神様が導いてくださるでしょう。



きょうのみことば

Handwriting practice lines for the daily verse.



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。神様とともに歩む契約の旅路の中で起きるす
べてのことから、隠された神様のメッセージを見つけるように導いてくだ
さい。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。ア
ーメン



絵を
かこう

「契約の旅路の中にある私」というテーマで、頭に浮かぶことを
絵か言葉で表現しましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

Grid area for drawing and notes, with a separate section for preparation materials.

ひかりをもつ レムナント

エステル
9章 22節

自分たちの敵を除いて休みを得た日、悲しみが喜びに、喪の日が祝日に変わった月として、祝宴と喜びの白、互いにごちそうを贈り、貧しい者に贈り物をする日と定めるためであった。

暗やみが光に勝ったことが一度としてないように、キリストの光を持つ神の子どもに、サタンと世の中が勝つことは絶対にできません。強大なペルシヤの国に起きた事を見れば知ることができます。ペルシヤの国には望むすべてを持っていた王妃ワシュティがいました。ある日、ワシュティは自分の霊的問題のために王妃の座から退くことになりました。そのとき、捕虜のひとり、ユダヤ人のレムナントのエステルが王妃になりました。当時、権力を握って高慢になっていたハマンという臣下がいました。彼は自分に向かって絶対に膝をかがめようとしないユダヤ人のモルデカイに怒り、ユダヤ民族を殺そうとしました。神様はエステルをあらかじめ準備されました。エステルとともにキリストの光を持つ神様の子どもが断食して祈ったとき、神様はエステルを通して、敵のハマンを倒して、神様が生きておられることを証明されました。

レムナントにはエステルのようにキリストの光があります。その霊的眞実をおぼえましょう。どんなサタンの攻撃の前でも、私の中にあるキリストの光によって、まわりまですべて生かされるのを見るようになるでしょう。



きょうのみことば



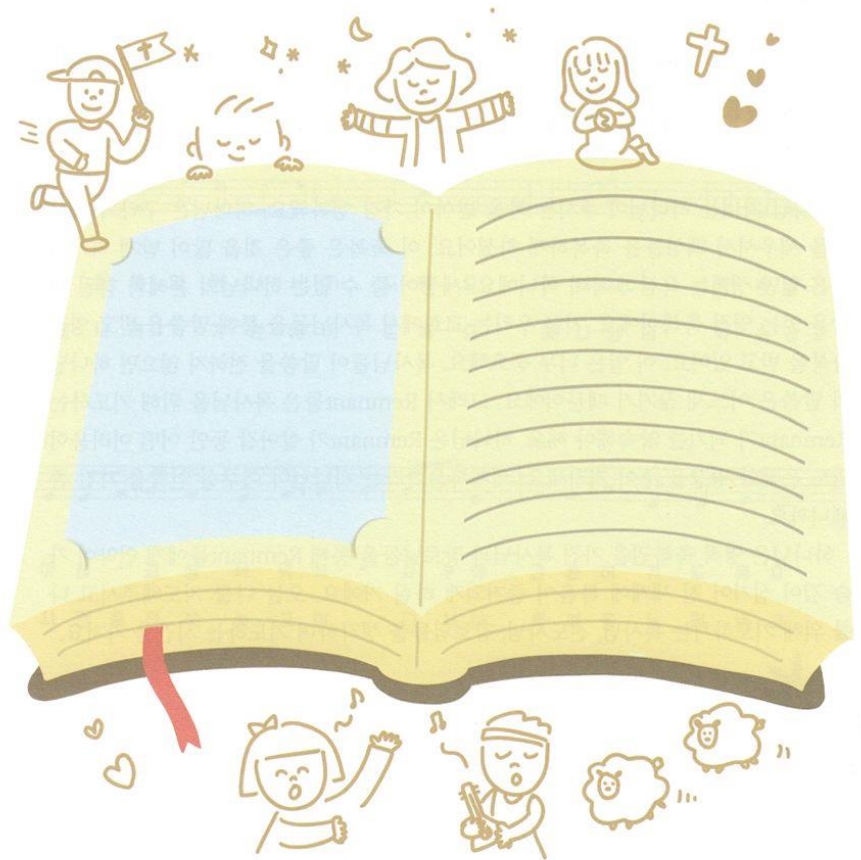
きょうのいのり

神様、ありがとうございます。神様の時刻表に従ってくださる答えを待ちながら、今日も私の中にあるキリストの光を味わうように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを
適用しよう

私たちがいつも聞いている福音のみことばには、キリストの光があります。今年握ったみことばをもう一度思い出して書いてみましょう。まわりの大人たちが私にかけてくれる祝福のことはや私のための祈りを聞いて書いてみましょう。



きょうのでんどう

会う人

準備する資料

さいしの しゅくふくを
うけた レムナント

みんすうき
6章 24~27節

『主があなたを祝福し、あなたを守られますように。主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。』(24-26)

神の子どもは、神様がくださる恵みを受けるとき一番幸せです。神様は旧約聖書において祭司をたてて国民を祝福するように言われました。この祝福は、良いことをたくさん受けられることや、良いことだけが起きる肉体的な祝福ではありません。世の中が与えることのできない神様の恵みとまことの平安を得る霊的祝福です。今、私たちは教会で牧師先生を通じてみことばを受けることで、霊的祝福を受けています。このことは、とても重要です。牧師先生がみことばを伝えなければ、神様のみことばはいつのまにか途切れるからです。レムナントは牧師先生のために祈るレムナントになると心に決めなければなりません。神様はレムナントが生きていく間、どんな困難がきても恵みと平安を与えて守ってくださいます。世界福音化という神様が成し遂げられる契約を持つ存在だからです。

神様は霊的祝福権を持つ牧師先生と長老さんを通じて、レムナントに契約が心の深くに根付き、全世界に福音が宣べ伝えられるようにして下さるでしょう。今日、私を指導してください、私のために祈ってくださいる牧師先生、伝道師先生、長老さんのことを考えて、祈る時間を持ちましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私たちの教会に立てられた牧師先生のみことばを通して恵みを受けて、先生の祈りの中にあることができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



さんびしょう

定刻祈り

作詞：ユ・ウイヨン
作曲：ノ・スンヒ

♩=115

C Am Dm G C G7

あ さ に 起 き た ら い の ろ う や く そ く に ぎ ー つ て
ね む る ま え に も い の ろ う や く そ く に ぎ ー つ て

5 C Am Dm G C

あ さ ひ る ゆ う し ょ く た べ た ら せ ー つ に い ー の ろ う
じ か ん を き ー め て ど こ で も し ゅ く ふ く あ じ わ お う

Fine



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび しりょう
準備する資料

せかいふくいんかの ための
しんでん じゅんび

G C Am F D/F# G

ふ し ぎ な て い こ く い の り 聖 霊 み た さ れ る D.C. al Fine



きょうのでんどう

あ ひと
会 人

じゅんび しりょう
準備する資料

民数記
7章 1~3節

モーセは幕屋を建て終わった日に、これに油をそそいで、聖別した。そのすべての器具と、祭壇およびそのすべての用具もそうした。彼がそれらに、油をそそいで聖別したとき、(1)彼らはささげ物を主の前に持って来た。それはおおいのある車六両と雄牛十二頭で、族長ふたりにつき車一両、ひとりにつき牛一頭であった。彼らはこれを幕屋の前に運んで来た。(3)

神様が荒野で幕屋を建て終わった日に、すべての幕屋の器具と祭壇と用具に油を注いで、聖なるものとされました。神様はなぜ油をそそぎなさいと言われたのでしょうか。

神様は教会に集まる礼拝と、私がいる家庭で、毎日聖霊の満たしを味わいなさいと言われました。私たちが私の力でなく、神様がくださる力、聖霊の働きを体験するレムナントになることを願っておられるからです。この力を受けたイスラエルの民の中で、12部族の指揮官として選ばれた重職者が、幕屋を移動させる車6両と12頭の雄牛をささげ物としてささげました。荒野を通るイスラエルの民は、幕屋を片付けて6両の車にのせて、契約の箱を担いだ祭司の後ろを歩き、カナンに向かって移動しました。世界福音化する私たちの教会のために、神様は長老を先に立てて、唯一の機会を与え、その献身を永遠に残る足跡にされます。

神様はこの旅程に従っていく私たちを通して、世界福音化のための神殿準備という永遠の作品を残されるでしょう。いまは神様が私に望んでおられる神殿準備について祈り始めましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私も牧師先生と重職者の方たちに従って、全世界237か国を生かす教会の証人になりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

マケドニヤへ いく みち

使徒
 13章 1～4節

彼らが主を礼拝し、断食をしていると、聖霊が、「バルナバとサウロをわたしのために聖別して、わたしが召した任務につかせなさい」と言われた。そこで彼らは、断食と祈りをして、ふたりの上に手を置いてから、送り出した。(2-3)

多くの教会が、神様が教会にくださった光の役割、塩の役割をすることができないまま、力を失っています。教会が福音をなくしたためです。その影響で、教会でも世の中の文化が中心となっています。それゆえ、霊的問題は深刻化して、精神問題を抱えた人は、どうしても増えて一方です。数多くの家庭が崩壊して、子どもたちは穏やかな時間を持つことができなくて、当て所なくさまよっています。このとき、福音を持つ教会とレムナントは、何をしなければならないのでしょうか。

毎日、神様がともにおられることを味わう祈りの深い奥義に入りましょう。この祈りの奥義は、宗教や占いをする人々のように、自らの欲を満たすための祈りでは分かりません。これらはサタンが好む祈りだからです。レムナントの祈りは、霊的状态にピントを合わせた祈りでなければなりません。ですから、祈りの課題より、祈る時間の喜びを見つけて、神様がともにおられる奥義を味わう祈りをささげれば良いのです。レムナントのバルナバとパウロのように、教会でささげる祈りだけでなく、ひとりであるとき、祈る楽しみを見つけることができるでしょう。福音が絶対に必要である私のマケドニヤに行く道がだんだんと見えてくるでしょう。



きょうのみことば



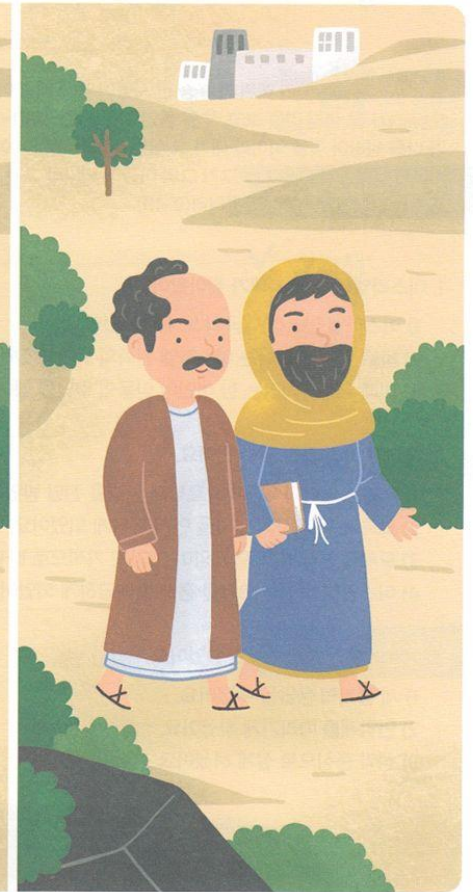
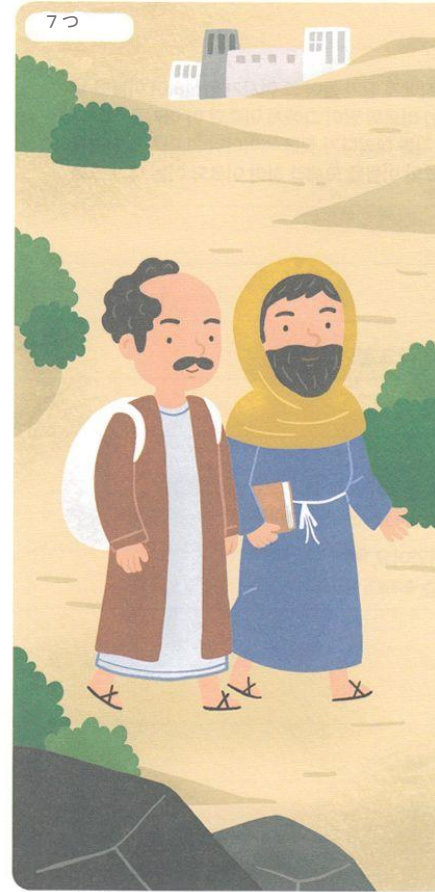
きょうのいのり

神様、ありがとうございます。祈りの深い奥義を知っていたバルナバとパウロのように、神様がともにおられるインマヌエルの祝福を味わうレムナントの祈りをすることができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



ちがいを
 みつけよう

いの祈りの深い奥義を知っていたバルナバとパウロがみことばに従って宣教のために出発しました。2つの絵を見くらべてちがいをみつけましょう。



きょうのでんどう

あひと
 会う人

じゆんび
 準備する資料
